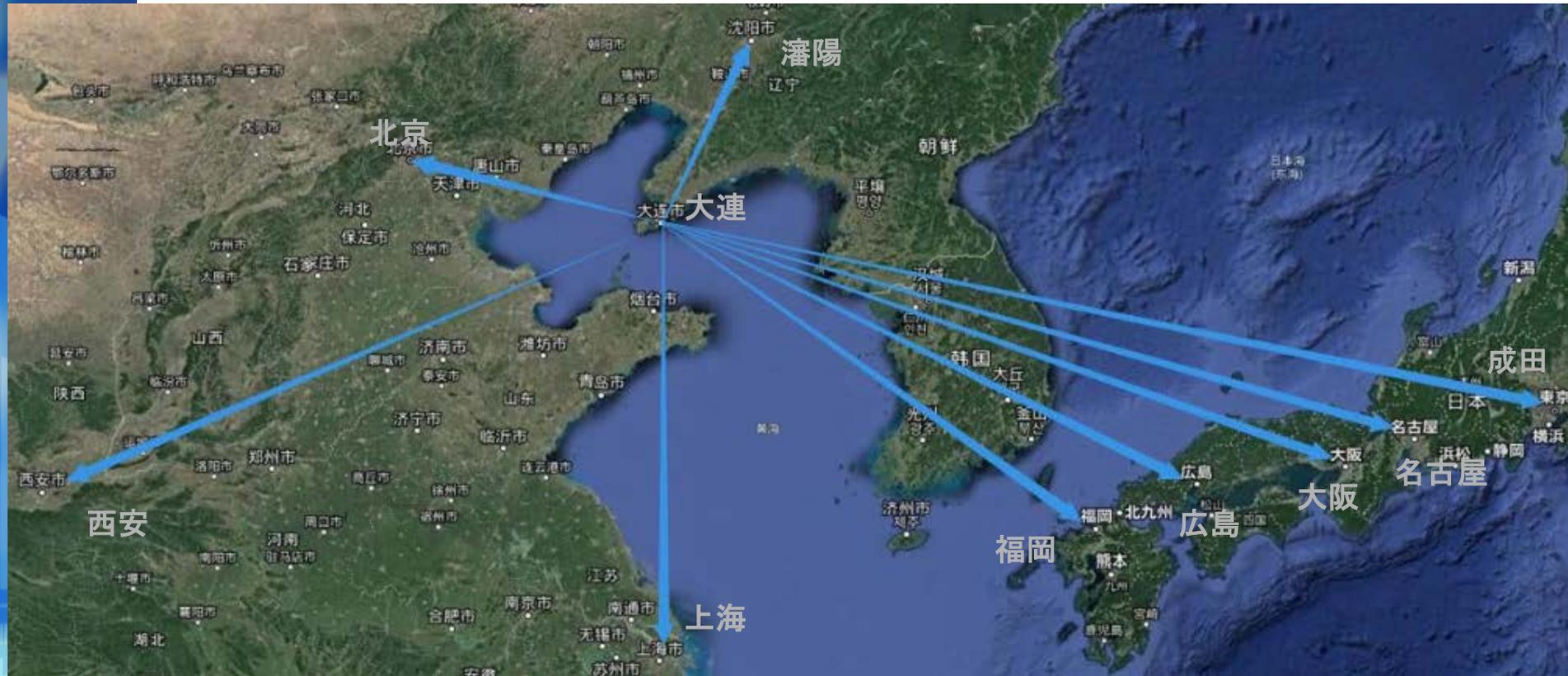


ILC大連は、どこにありますか

- **ILC大連は中国東北部、遼寧省の中核都市、大連市にあります。**
- **遼寧省の省都は瀋陽市で、中国最後の皇帝がおられた都市としても有名です。**
- **大連市は、日本でいうと仙台市と同じ緯度がありますが、黄海と渤海に面した気候温暖な土地であり、夏は涼しく、冬の寒さも厳しくない過ごしやすい街です。大連近郊の旅順市は、司馬遼太郎の「坂の上の雲」で有名な二〇三高地があり、日本人にも人気の観光地です。**

大連市は利便性のよい立地にあります。



大連市は、中国東北地方の門戸であり、東北地方の瀋陽・長春・ハルピンへ高鉄で直行（2-3時間）、中国国内の主要都市（北京、上海、西安、広州、深圳）へ飛行機で2-3時間程度で移動出来ます。
日本主要都市（東京（成田）、名古屋、大阪、広島、福岡）との定期便があり、各都市からは2-3時間程で到着できる距離にあります。

ILC大連は大連市の西の端にあります。

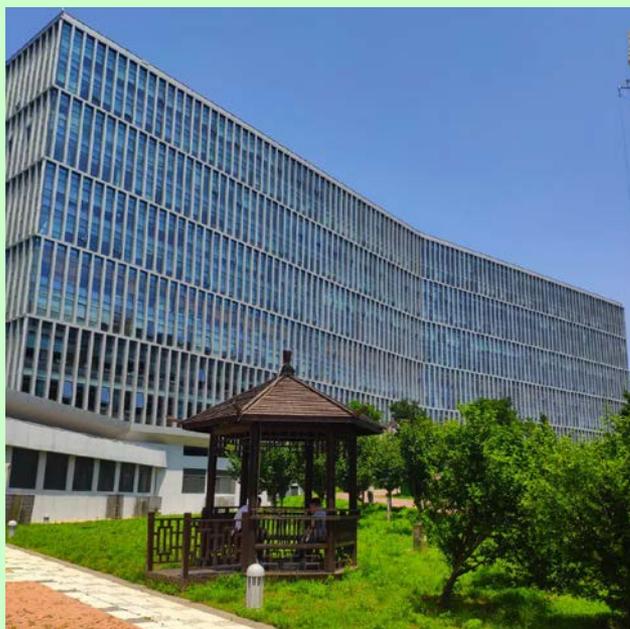
ILC大連は、大連市の西の端、大連ソフトパーク(の西端アセンダスビジネスパーク)に位置します。日系IT企業だけでなく、欧米のIT企業や中国のIT企業が開発拠点をしています。

大連ソフトパークまで大連国際空港から30分、大連市内から40分です。日系企業の生産拠点多く進出している大連開発区まで車で1時間の距離にあります。



アセンダスビジネスパークのご紹介

アセンダスビジネスパークは、シンガポール資本と中国資本で構成されるビジネスパークで、建設中を合わせると6棟のビルからなります。ILC大連は1号館9階東に事務所を持ち、渤海を眼下に見下ろす景色が自慢です。



大連市にはIT人材が豊富です

- ① 上海、深圳とともに、鄧小平の時代から日系誘致が進んでおり、対日感情も好意的といえます。2000年代のOff-Shoreブームに乗って、多くの日本企業がソフト開発の委託先として関心を持ち、現在でも日本企業からの委託業務が主体のIT企業が多く存在します。
- ② 日本との関係も深く、日本語人材が豊富にみられ、日本語一級取得者は中国で二番目に多い年です。遼寧省には、大学が22校(大連理工大学、大連海事大学、大連外国語大学等)設置されており、年間IT関係専攻の卒業生人数が10,000人以上。さらに、大専・技術専門学校からIT関係の卒業生4,000人以上あり、14,000人以上が毎年人材市場に加わります。ソフトウェア産業に従事するエンジニアは常時20万人程度いると言われていています(JETRO調査)。大都市圏に比べると賃金も安く(高騰傾向は弱く)、優秀なソフトウェア人材の採用も容易です。
- ③ 中国の大都市圏と同じく、路面電車・地下鉄・路線バス・タクシーなど交通手段が整備されています。大連領事事務所・JETRO・日本人学校・日本商工会・大手銀行の大連支店もあり、中国で日本人にとって住みやすい街のひとつで、常時滞在の日本人が3000人以上いると言われています。大連ソフトウェアパーク、アセンダスビジネスパークでは100社ほどの日系IT企業が存在します。

ILC大連は2007年に設立されました

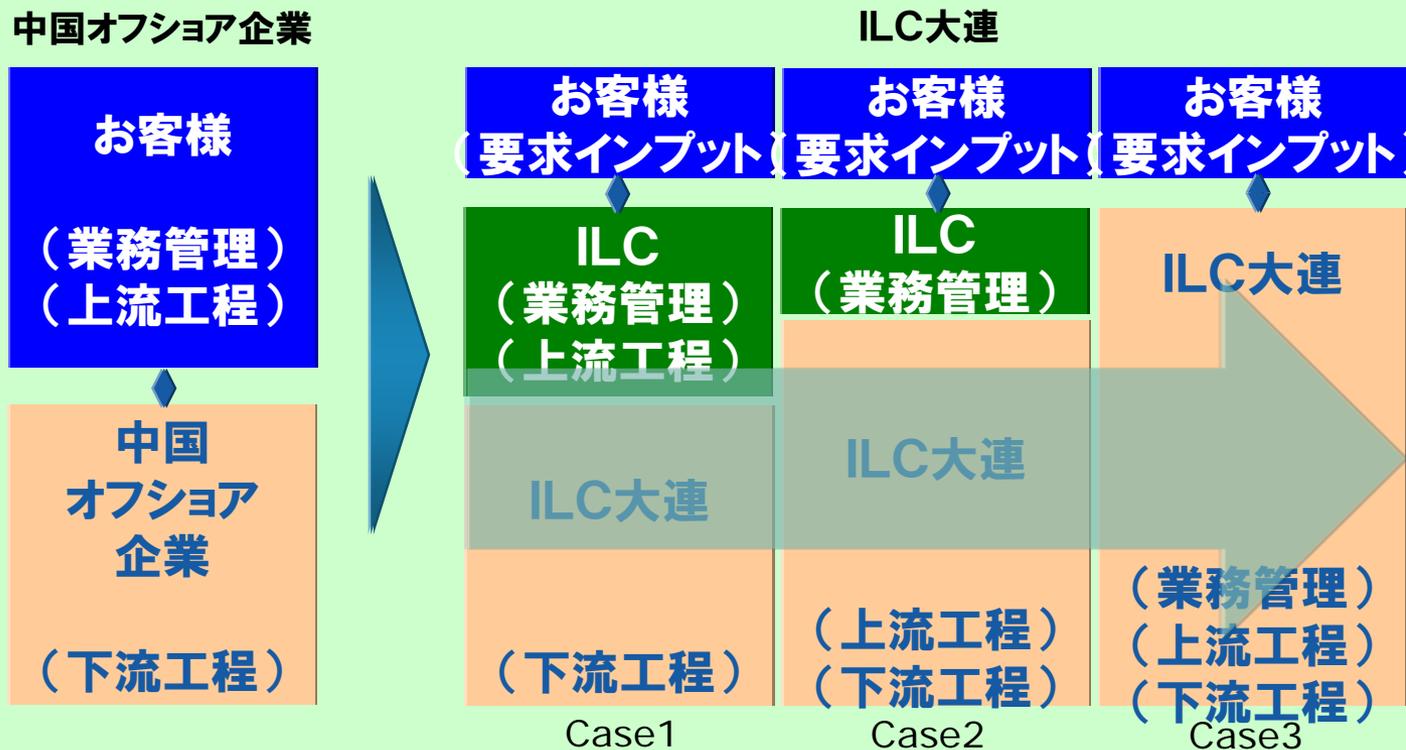
- ① ILC大連は2007年に、アイ・エル・シーの開発コストの効率的な低減を計るべく、同独資法人を下流工程開発の生産拠点として活用していくことを目的として設立されました。設立当初から、アイ・エル・シー商品開発の支援だけでなく、アイ・エル・シーが顧客から受注したソフトウェア開発・検証業務をILC大連に委託、実行しております。
- ② ILC大連の定款には「公司的经营宗旨为培育中国软件开发人员并拓展中国境内外软件市场」(会社の経営目的は、中国ソフトウェア開発者の人材育成と中国国内外市場でのソフトウェア・マーケティングの展開とする。)とも記載しています。拡大が期待されている中国市場における開発・事業拠点の性格も保有しています。
- ③ ILC大連は、現在もアイ・エル・シーを通して、日本顧客からの受注案件を実行しておりますが、近年は中国での日系顧客からの受注量も増えています。その比率は50:50に近づいております。

ILC大連は組み込みソフト開発が得意分野です

- ① ILC大連は、設立当初から組み込みソフトの開発、検証関係の業務を得意分野としています。特にアイ・エル・シーの持つ、GENWARE、INTALOGICなどの優れたFACTICS製品群を核としたソフト開発を得意としていますが、近年のIoT化のトレンドにあわせ、携帯APPの開発や、Cloudとの繋ぎも開発実績を持ちます。実績のあるプログラム言語はC、C++、C#が中心ですが、Python言語の実績も保有しています。
- ② 検証分野におきましては、お客様製品の第三者検証として、製品仕様書・マニュアルからテスト仕様書を作成し、テスト仕様書に基づいたテストケースの設計、実行まで対応させていただきます。お客様での新製品開発プロセスに同期して開発プロセスの上流でテスト仕様書を作成することができ、新商品開発での品質創り込みに貢献した事例も多くあります。
- ③ 開発プロセスは、アイ・エル・シーの保有する品質管理基準をILC大連でもベースにしております。アイ・エル・シーの品質管理部門の指導も受け、プロセスの徹底遵守とプロセスの改善を行っております。お客様ご指定の開発プロセスがある場合には、公開いただければ、そのプロセスに従った開発・検証業務を実行します。

ILC大連への業務委託形態を紹介します

従来のオフショアでは、オフショア企業に対してお客様側で業務管理や上流工程を実行することが要求され、お客様側の業務負担が残ることも多くありました。ILC大連では、アイ・エル・シーと連携することで、業務管理や上流工程をアイ・エル・シーで実行することも可能です。さらに案件によっては、アイ・エル・シー担当を業務管理のみにする、業務管理さえILC大連で実行するケースも増えています。



ILC大連での直近5年間の業務実績です。

○=アイ・エル・シーが主体的に業務管理 ●=ILC大連が主体的に業務管理

分野	実績	日本	中国
医療機器	大型医療機器のGUI画面開発・検証	○	
	健康機器の開発		●
FA機器	サーボ機器のFW開発・検証	●	●
	制御機器のソフト機能検証	●	
	PLCラダープログラムの開発		●
FAシステム	電子機器組み立て工場のIoT化		●
精密計測	精密計測機器のGUI画面開発・検証	●	
	精密計測機器の制御ソフト開発	●	●
車載機器	車載マイコン用ドライバーのソースコード品質の確認	○	
	車載マイコン用ドライバーの開発・検証	○●	
	車載向け画像認識ソフトの検証	●	
民生・家電	白物家電・健康家電の制御ソフト開発・検証		●
	民生機器の周辺ソフト開発(iOS・Android)・検証	○	●
	デザイン家電の開発・検証(Cloud、携帯APP)		●
IoT関係	衣料品展示会のリモート開催支援システム		●
開発支援	技術情報の翻訳(日本語、英語、中国語)・・・年間6000頁	○	●

ILC大連カンパニーアウトライン

会社名	[中文名] 愛爾希(大連)科技有限公司 [日本名] ILC大連 [英文名] ILC Dalian Co.Ltd.
設立日	2007年4月4日
資本金	9000万円
董事長兼總經理	土居 公司
董事	中村伸一郎、渡辺由美子
監事	佐々木淳一
従業員数	60名(開発35名 検証17名) ※2021年7月1日現在
住所	遼寧省大連高新園區七賢嶺匯賢園1号909-911(〒116025) TEL:+86-411-3973-7700 FAX:+86-411-3973-7711
事業内容	ESDSS(組込ソフトウェア開発に特化したアウトソーシング) ESDSS開発サービス(SW設計、実装、デバッグ等) ESDSS検証サービス(設計内検証、機能検証等) ESDSS開発支援サービス(技術翻訳等) ESDSS=Embedded Software Development Support Service



WeChatの公介号